



## 2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場会社名 リョービ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5851 URL <https://www.ryobi-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦上 彰  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部副本部長 (氏名) 有廣 弘 TEL 03-3501-0511  
 兼 財務部部长  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期第3四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	179,311	24.5	2,947	—	4,009	—	2,221	—
2021年12月期第3四半期	144,063	17.8	△1,588	—	△494	—	△477	—

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 15,801百万円 (145.8%) 2021年12月期第3四半期 6,429百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	68.64	—
2021年12月期第3四半期	△14.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	303,309	147,309	45.6
2021年12月期	279,422	131,717	44.0

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 138,213百万円 2021年12月期 122,926百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2022年12月期	—	20.00	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	248,000	25.2	6,400	—	7,600	—	5,100	—	157.56

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、〔添付資料〕9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期3Q	32,646,143株	2021年12月期	32,646,143株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	277,538株	2021年12月期	277,412株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期3Q	32,368,665株	2021年12月期3Q	32,368,795株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

(補足資料) 2022年12月期第3四半期決算補足資料

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年9月30日)における当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の再拡大や世界的なサプライチェーンの混乱による影響がありました。総じて緩やかな回復基調にありました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、エネルギー価格や資材価格の高騰、急激な為替変動など、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは積極的な販売活動を進め、原価低減や生産性の向上、業務の効率化などの諸施策を推進しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、次のとおり前年同期に比べて増収、増益となりました。

## &lt;連結業績&gt;

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減
売上高	144,063	179,311	35,247 (24.5%)
営業利益又は 営業損失(△)	△1,588 (△1.1%)	2,947 (1.6%)	4,535 (—)
経常利益又は 経常損失(△)	△494 (△0.3%)	4,009 (2.2%)	4,503 (—)
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△477 (△0.3%)	2,221 (1.2%)	2,699 (—)

( )内は売上高利益率、ただし増減欄は増減率

セグメント別では、ダイカスト事業は、前年同期に比べて増収、増益となりました。生産量(重量)は、国内では半導体不足などによる自動車生産への影響により減少しましたが、海外では経済活動の正常化に伴い増加し、全体では若干増加しました。また、原料(アルミ)価格上昇分の販売価格への転嫁が進んだことに加え、在外子会社の売上高の円換算額が円安の影響により増加したこともあり、増収となりました。利益については、エネルギー価格高騰などの影響がありましたが、増収の効果などにより増益となりました。

住建機器事業は、前年同期に比べて増収、減益となりました。売上高は、国内、海外ともに増加しました。利益については、原価低減や経費節減に努めたものの、中国人民元高による調達コストの上昇により減益となりました。

印刷機器事業は、前年同期に比べて増収、増益となりました。売上高は、国内、海外ともに増加しました。国内においては政府等の補助金による設備投資の促進効果により増収となり、海外では欧州向けの輸出が堅調に推移しました。利益については、原材料価格上昇の影響がありましたが、増収の効果などにより増益となりました。

## ①セグメント別売上高

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減
ダイカスト	123,567 (85.8%)	155,896 (86.9%)	32,329 (26.2%)
住建機器	6,909 (4.8%)	7,359 (4.1%)	450 (6.5%)
印刷機器	13,440 (9.3%)	15,884 (8.9%)	2,443 (18.2%)

( )内は構成比率、ただし増減欄は増減率

## ②セグメント別営業利益又はセグメント別営業損失

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減
ダイカスト	△1,380 (△1.1%)	1,870 (1.2%)	3,250 (—)
住建機器	259 (3.8%)	187 (2.5%)	△72 (△27.9%)
印刷機器	△470 (△3.5%)	885 (5.6%)	1,355 (—)

( )内は売上高利益率、ただし増減欄は増減率

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ238億87百万円増加し、3,033億9百万円となりました。増加は主に受取手形及び売掛金143億26百万円、有形固定資産112億71百万円、棚卸資産62億5百万円等によるものです。その一方で、減少は現金及び預金94億82百万円等がありました。

負債は、前連結会計年度末に比べ82億95百万円増加し、1,560億となりました。増加は主に長・短借入金51億1百万円、支払手形及び買掛金20億18百万円等によるものです。その一方で、減少は社債15億円等がありました。受取手形割引高及びリース債務を除いた有利子負債残高は、773億71百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ155億92百万円増加し、1,473億9百万円となりました。増加は主に為替換算調整勘定134億68百万円、利益剰余金19億68百万円等によるものです。純資産から非支配株主持分を差し引いた自己資本は、前連結会計年度末に比べ152億87百万円増加し、1,382億13百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.6ポイント増加し、45.6%となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期連結会計期間末	増減
総資産	279,422	303,309	23,887 ( 8.5%)
自己資本	122,926 ( 44.0%)	138,213 ( 45.6%)	15,287 ( 12.4%)
有利子負債	73,769 ( 26.4%)	77,371 ( 25.5%)	3,601 ( 4.9%)

( ) 内は対総資産比率、ただし増減欄は増減率

## (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ95億72百万円減少し、178億16百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ66億44百万円減少し、42億6百万円の資金増加となりました。資金増加は主に減価償却費136億58百万円、税金等調整前四半期純利益38億78百万円等によるものです。その一方で、資金減少は売上債権の増加106億32百万円、棚卸資産の増加30億92百万円等がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ36億85百万円支出が増加し、128億89百万円の資金減少となりました。資金減少は主に有形固定資産の取得による支出130億70百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ5億69百万円増加し、18億62百万円の資金減少となりました。資金減少は主に社債の償還による支出15億円、配当金の支払9億44百万円等によるものです。その一方で、資金増加は長・短借入金の増加7億10百万円等がありました。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	10,851	4,206	△6,644
投資活動による キャッシュ・フロー	△9,204	△12,889	△3,685
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,431	△1,862	569

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の連結業績予想につきましては、2022年8月4日(2022年12月期第2四半期決算発表時)の発表値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,538	19,056
受取手形及び売掛金	44,327	58,654
有価証券	740	650
商品及び製品	19,603	20,879
仕掛品	14,813	16,620
原材料及び貯蔵品	18,092	21,215
その他	3,505	4,429
貸倒引当金	△30	△24
流動資産合計	129,591	141,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,793	34,435
機械装置及び運搬具（純額）	51,314	59,683
土地	15,598	15,836
建設仮勘定	11,733	12,138
その他（純額）	5,718	6,335
有形固定資産合計	117,158	128,430
無形固定資産		
その他	3,159	3,011
無形固定資産合計	3,159	3,011
投資その他の資産		
投資有価証券	15,772	15,600
その他	13,802	14,849
貸倒引当金	△62	△64
投資その他の資産合計	29,512	30,385
固定資産合計	149,830	161,827
繰延資産		
社債発行費	0	—
繰延資産合計	0	—
資産合計	279,422	303,309

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,606	43,625
短期借入金	36,498	41,535
1年内償還予定の社債	1,500	—
1年内返済予定の長期借入金	13,005	5,465
未払法人税等	636	727
賞与引当金	387	1,089
その他	17,131	19,055
流動負債合計	110,765	111,499
固定負債		
長期借入金	22,765	30,370
退職給付に係る負債	7,872	7,533
その他	6,301	6,597
固定負債合計	36,939	44,501
負債合計	147,705	156,000
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,472	18,472
資本剰余金	21,875	21,892
利益剰余金	71,587	73,556
自己株式	△346	△346
株主資本合計	111,588	113,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,503	5,233
土地再評価差額金	811	811
為替換算調整勘定	4,288	17,757
退職給付に係る調整累計額	734	837
その他の包括利益累計額合計	11,337	24,639
非支配株主持分	8,790	9,095
純資産合計	131,717	147,309
負債純資産合計	279,422	303,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	144,063	179,311
売上原価	130,907	160,735
売上総利益	13,156	18,575
販売費及び一般管理費	14,745	15,628
営業利益又は営業損失(△)	△1,588	2,947
営業外収益		
受取利息	131	100
受取配当金	201	224
受取賃貸料	123	116
為替差益	74	647
持分法による投資利益	42	—
商標権使用料	213	260
助成金収入	336	47
その他	790	595
営業外収益合計	1,914	1,992
営業外費用		
支払利息	686	747
持分法による投資損失	—	23
減価償却費	12	10
その他	122	148
営業外費用合計	820	929
経常利益又は経常損失(△)	△494	4,009
特別利益		
固定資産処分益	3	17
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	4	17
特別損失		
固定資産処分損	103	144
投資有価証券評価損	2	4
特別損失合計	105	148
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△595	3,878
法人税等	△100	1,384
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△495	2,493
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	271
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△477	2,221

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△495	2,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,166	△264
土地再評価差額金	0	—
為替換算調整勘定	5,239	13,171
退職給付に係る調整額	334	103
持分法適用会社に対する持分相当額	183	297
その他の包括利益合計	6,925	13,307
四半期包括利益	6,429	15,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,440	15,523
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	277

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△595	3,878
減価償却費	12,869	13,658
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	725	701
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	109	△86
受取利息及び受取配当金	△333	△324
支払利息	686	747
助成金収入	△336	△47
持分法による投資損益(△は益)	△42	23
投資有価証券評価損益(△は益)	2	4
固定資産処分損益(△は益)	99	126
売上債権の増減額(△は増加)	2,044	△10,632
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,105	△3,092
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△439	△701
仕入債務の増減額(△は減少)	6,122	402
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,013	662
その他	△368	△32
小計	11,410	5,281
利息及び配当金の受取額	404	352
利息の支払額	△736	△788
助成金の受取額	414	67
法人税等の支払額	△641	△706
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,851	4,206
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,275	△13,070
有形固定資産の売却による収入	330	68
有価証券の取得による支出	△650	△650
有価証券の売却による収入	680	650
投資有価証券の取得による支出	△8	△1
投資有価証券の売却による収入	13	—
定期預金の預入による支出	△1,214	△1,214
定期預金の払戻による収入	1,214	1,214
その他	△294	114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,204	△12,889
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,850	2,183
長期借入れによる収入	1,854	11,023
長期借入金の返済による支出	△7,100	△12,495
社債の償還による支出	△4,600	△1,500
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△324	△944
その他	△111	△128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,431	△1,862
現金及び現金同等物に係る換算差額	798	972
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14	△9,572
現金及び現金同等物の期首残高	25,405	27,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,420	17,816

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しています。

これにより、顧客から原材料等を仕入れ、加工を行ったうえで当該顧客に販売する有償受給取引等において、従来は原材料等の仕入価格を含めた対価の総額で収益を認識していましたが、原材料等の仕入価格を除いた対価の純額で認識する方法に変更しています。また、金型の費用を一定期間にわたって顧客から回収する取引について、従来は回収期間にわたり収益を認識していましたが、一時点で認識する方法に変更しています。加えて、従来は出荷時に収益を認識していましたが販売の一部について、検収時に認識する方法に変更しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,147百万円減少し、売上原価は4,294百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ147百万円増加しています。また、利益剰余金の当期首残高は718百万円増加しています。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しています。これによる当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	ダイカスト	住建機器	印刷機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	123,567	6,909	13,440	143,917	146	144,063	—	144,063
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53	—	—	53	9	62	△62	—
計	123,620	6,909	13,440	143,971	155	144,126	△62	144,063
セグメント利益又は 損失(△)	△1,380	259	△470	△1,590	2	△1,588	△0	△1,588

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及びゴルフ場の経営を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等によるものです。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と一致しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	ダイカスト	住建機器	印刷機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	155,896	7,359	15,884	179,141	169	179,311	—	179,311
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43	—	—	43	12	56	△56	—
計	155,939	7,359	15,884	179,184	182	179,367	△56	179,311
セグメント利益	1,870	187	885	2,942	4	2,947	△0	2,947

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及びゴルフ場の経営を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と一致しています。

## 2022年12月期 第3四半期決算補足資料

2022年11月8日  
リョービ株式会社

(連結)

(単位:百万円、%)

	2020/12		2021/12		2022/12	
	第3四累計	通期	第3四累計	通期	第3四累計	通期(予想)
売上高	122,309	170,973	144,063	198,073	179,311	248,000
営業利益	-3,003 -2.5	-1,789 -1.0	-1,588 -1.1	-1,524 -0.8	2,947 1.6	6,400 2.6
経常利益	-1,724 -1.4	-35 -0.0	-494 -0.3	4 0.0	4,009 2.2	7,600 3.1
親会社株主に 帰属する当期純利益	-1,546 -1.3	-697 -0.4	-477 -0.3	-4,397 -2.2	2,221 1.2	5,100 2.1
1株当たり当期純利益	-47.79円	-21.54円	-14.74円	-135.87円	68.64円	157.56円

## セグメント別売上高

	構成比		構成比		構成比		構成比	
	2020/12	2021/12	2020/12	2021/12	2020/12	2021/12	2022/12	2022/12
ダイカスト	103,645 84.7	145,869 85.3	123,567 85.8	169,898 85.8	155,896 86.9	215,000 86.7		
住建機器	6,889 5.6	9,406 5.5	6,909 4.8	9,574 4.8	7,359 4.1	10,000 4.0		
印刷機器	11,646 9.5	15,513 9.1	13,440 9.3	18,393 9.3	15,884 8.9	23,000 9.3		
国内	65,542 53.6	91,088 53.3	75,799 52.6	103,649 52.3	82,264 45.9	112,800 45.5		
海外	56,766 46.4	79,884 46.7	68,264 47.4	94,424 47.7	97,046 54.1	135,200 54.5		

## セグメント別営業利益

	利益率		利益率		利益率		利益率	
	2020/12	2021/12	2020/12	2021/12	2020/12	2021/12	2022/12	2022/12
ダイカスト	-2,703 -2.6	-1,612 -1.1	-1,380 -1.1	-1,449 -0.9	1,870 1.2	5,400 2.5		
住建機器	556 8.1	799 8.5	259 3.8	362 3.8	187 2.5	300 3.0		
印刷機器	-838 -7.2	-944 -6.1	-470 -3.5	-417 -2.3	885 5.6	700 3.0		

	比率		比率		比率		比率	
	2020/12	2021/12	2020/12	2021/12	2020/12	2021/12	2022/12	2022/12
総資産	250,981	258,660	269,419	279,422	303,309	—		
自己資本	115,459 46.0	117,147 45.3	123,278 45.8	122,926 44.0	138,213 45.6	—		
利益剰余金	75,459 30.1	76,309 29.5	75,508 28.0	71,587 25.6	73,556 24.3	—		
有利子負債	75,776 30.2	72,475 28.0	72,192 26.8	73,769 26.4	77,371 25.5	76,000		

設備投資	13,786	17,392	9,364	13,070	13,277	17,000
減価償却費	12,274	16,402	12,869	17,240	13,658	18,000

営業キャッシュ・フロー	-523	11,795	10,851	14,900	4,206	—
投資キャッシュ・フロー	-14,158	-17,567	-9,204	-12,162	-12,889	—
財務キャッシュ・フロー	13,421	9,718	-2,431	-1,936	-1,862	—

(単位:人)

期末人員	7,414	7,396	7,248	7,243	7,352	—
------	-------	-------	-------	-------	-------	---

('22/12期第4四半期の想定為替レート)

米ドル	135円	英ポンド	160円
中国元	19.5円	タイバーツ	3.7円